

第8回 文部科学省産学官連携コーディネーター 全国会議 IN 九州

テーマ：“変化” ～ 国際競争力、地域連携、大学変革に備えて

パネルディスカッション：コーディネーター 砂田向壱
(文部科学省産学官連携広域コーディネーター)

「探求！ 産学官連携が目指すところ」

開催日：平成17年1月21日（金）午後2時5分～5時30分

会場：アクロス福岡 イベントホール

プロフィール

Koichi Sunada, Ph.D.

- 砂田向壱(文部科学省産学官連携広域コーディネーター)58歳、
- 北九州小倉出身。
- 九州大学大学院人間環境学研究所空間システム学専攻博士後期課程修了。
- 産学官連携コーディネーター全国会議の第一回を提唱、主催。
- 小国町等地域と大学の包括的プロジェクトをはじめ、新興分野人材養成ユニット、CREST、fMRI等大型研究の編成、指導の傍ら、厚生科学分野、融合領域、安全安心等の政府系研究会の委員を兼ねる。他に、九州大学大学院芸術工学研究院 計画・評価委員会委員。昨秋、高知大学学長アドバイザーを併任。



パネリストの紹介

- **大熊 毅 氏** 日本政策投資銀行九州支店長
議論の導入部、「大学発ベンチャー」「大学の社会機能、社会ストックの活用」
- **橋田 紘一 氏** 九州電力(株) 常務取締役
議論の導入部、「リーダー人材の養成」「産業界のニーズ」
- **内丸 幸喜 氏** 文部科学省科学技術・学術政策局付(併)内閣府(科学技術政策担当)企画官
議論の導入部、「文化芸術と科学技術の融合領域」「第三次科学技術基本計画が目指す方向」
- **斎藤 徳美 氏** 国立大学法人 岩手大学 副学長
議論の導入部、「大学と地域の連携」「大学間地域連携の推進」
- **中山 亨 氏** 経済産業省非鉄金属課 課長
議論の導入部、「連携の本質」「日本が勝てる新分野の国際競争力」
- **中谷 比呂樹 氏** 厚生労働省国立医薬食品衛生研究所 企画調整官
議論の導入部、「医薬と産業」「日本の医療および機器の世界的地位」
- **宮崎 暢俊 氏** 熊本県小国町長
議論の導入部、「三位一体、人口縮小、縮む時代の地方都市」「大学の新たな価値、その活用と連携」

進行構成シナリオ

開始14:05 ~ まとめ×目標17:30 + 会場参加、質疑・応答 終演18:00

1. 各自用意のスライド
を開いて自己アピール、
及び議論(要旨)の紹介。
全体計 = 40分



2. 議論！！ポイント「探求！産学官連携が目指すところ」
概ね120分、平均一人当たり15分少々、したがって、平均的
、かつ順番にコーディネータが振る方法を探らず、山ほど話
したい材料提言者に議論を集中し、議論を増幅する方向に収斂。
3. まとめ、30分 + 会場参加、質疑・応答30分

「探求！産学官連携が目指すところ」

“変化”～国際競争力、地域連携、大学変革に備えて

(1) 国、機関それぞれの視点から

- ・経済産業省、厚生労働省、文部科学省、日本政策投資銀行
文系、理系融合の視点からテーマの本質を探究

(2) 大学(地方)の視点から

- ・岩手大学が実践する地方大学の意義
ゲストの視点からテーマの本質を探究

(3) 自治体町長、地域連携の視点から

- ・少子高齢化社会、縮む地方財政、大学の活かし方
ゲストの視点からテーマの本質を探究

(4) 企業、経済界の視点から

- ・産業界の期待を大学が把握できているか
ゲストの視点からテーマの本質を探究

